



パンサーズ 選手 20 人で市役所へ

Vリーグシーズン終了に伴い、5月22日に表敬訪問

5月22日(月)、市PR大使で本市を本拠地とする男子バレーボールチーム・パナソニック パンサーズが、国内最高峰のバレーボールリーグの2022-23 V.LEAGUE Division1のシーズン終了に伴い活動報告を行うため、枚方市役所を表敬訪問する。

パンサーズはホームゲームへの市民観戦招待や、幼・保育所(園)、小・中学校等への選手訪問など市民との交流機会を多く設け、市はホームタウンチームの応援のぼり旗の作成やふるさと納税返礼品としてのレシーブ体験で関わるなど、スポーツ観戦だけにおさまらない連携で一緒になって地域を盛り上げてきた。

当日は、日本代表選手である山内選手、大塚選手、西山選手、エバデダン選手を含む総勢20人の選手団が訪れる予定。久保田代表取締役、山内キャプテン、清水副キャプテンによる昨シーズンの報告のほか、次シーズンに向けた意気込みなどを語る。

★市長表敬 概要

日時：5月22日(月)11時00分～11時30分頃まで

会場：市役所別館4階 第3・第4委員会室

出席予定者：

【パナソニックパンサーズ】

久保田 剛パナソニックスポーツ株式会社代表取締役

南部 正司ゼネラルマネージャー

山内 晶大選手(キャプテン)、清水 邦広選手(副キャプテン)、

大塚 達宣選手(枚方市出身)、中村 駿介選手(枚方市出身) 他16名程度

【枚方市】

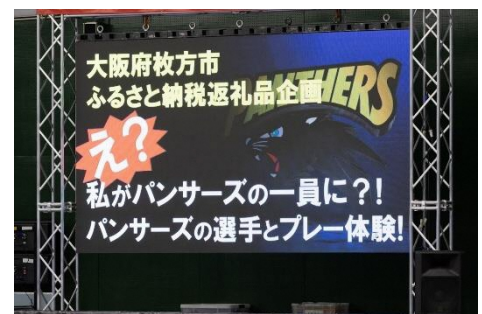
枚方市長、枚方市議会議員ほか

★パナソニック パンサーズは1951年創部。菊丘南町にあるパナソニックアリーナを本拠地とし、Vリーグで活躍する男子バレーボールチーム。Vリーグ・天皇杯・黒鷲旗の3大タイトル全てを制する3冠を3度成し遂げるなど、日本を代表する強豪チームとして知られる。日本代表選手である、ミドルブロッカーの山内晶大選手、エバデダンラリー選手、アウトサイドヒッターの大塚達宣選手(枚方市出身)、西山大翔選手が所属する。

★市と平成 29 年に連携協力協定を締結し、市 PR 大使も務めるパナソニックパンサーズは、昨年の交流事業として、市内幼稚園・保育所(園)、小学校、中学校合計 38 校(約 2,400 人)でのバレーボール教室等を開催。また、参加した児童・生徒から応援メッセージを記入したのぼりをホームゲーム時に掲出。



★他にも、販売開始後 1 分以内に売り切れとなったふるさと納税の体験型返礼品や、淀川の四季再発見ウォークへの協力など、さまざまな事業において、積極的に市と連携している。



★今年 3 月にはホームタウンチームとの連携の一環でのぼり旗を作成。応募があった市内の店舗等約 70 事業所で掲出されている。現在は連動企画としてハッシュタグキャンペーンを開催中。のぼり旗が掲出されている店舗等で写真を撮影し、枚方でのスポーツに関するエピソードと合わせてツイッター上に投稿する企画で、街中でもウェブ上でもチームカラーの青いのぼり旗を掲げ、ホームタウンチームへの応援の気持ちを広げていく。



<お問い合わせ>

観光にぎわい部 スポーツ振興課 ☎072-841-1412 FAX072-841-1278